

教育研究所通信

発行：都城市教育研究所
第7号 令和5年11月22日

研究授業～その3～「子どもたちが主役の授業【わ・さ・び】を目指して！」

妻ヶ丘中の森瑞樹教諭が教育研究所3回目の研究授業を11月2日(木)に行いました。子どもたちが主役の授業を目指す手立てとして、今回はジグソー法を用いました。ジグソー法は、課題について役割分担をして調べ学習を行い、自分が調べた内容(ここでは、グラフ、表、式)を教え合います。タブレットを活用した発表では、主体性や協調性も培われていきます。

また、教科書の問題を生徒の学校生活に関連して再構成した単元の課題は、生徒の探求心を高めていた点で、教師としての味付けが光っていました。



学習活動(ジグソー法)の確認



ICTを活用した意見の交流



ワークシートに考えを書く

第1学年1組 数学科学習指導案

都城市立妻ヶ丘中学校
授業者 森 瑞樹

1 単元名 変化と対応

6 学習指導過程

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	評価基準【観点】(評価の方法)	ICTの活用	参観の視点
導入 7分	1 小テストを行い既習事項を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。	○ 既習事項を確認することで本時の目標を解決するためのレディネスをそろえる。		キュービナ 大型テレビ	単元終末で単元の課題に取り組むことが、生徒の主体性の向上に有効か。
	★単元の課題★ いよいよ明日はマラソン大会です。昨年度はA君に負けて惜しくも2位でした。今年こそ勝つために昨年度の差を知りたいので、グラフに表してみました。10分後に、A君とぼくは何m離れているでしょうか。				
	3 本時の目標を確認する。	○ グラフは比例のグラフであることを確認する。 ○ アニメーションを使って問題を提示し、2人の違いをつかませる。			
	4 問題解決の見通しを立てる。 A グラフ B 表 C 式	○ 単元の授業を振り返り、グラフ・表・式のいずれかを使えば問題が解決できそうかどうかを確認する。 ○ 生徒に主体性をもたせるために、ジグソー法を用いて学習課題に取り組むことを伝える。 ○ 5～6人グループでABCを選ばせる。(役割分担)			
比例の関係を利用して、問題を解決し、その解き方を説明しよう。					

本通信についてのお問合せ

■ 都城市教育研究所 市役所南別館3階 電話：23-7167(所長直通) 23-9544(学校教育課) ■